

## 主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【国語】

### 1. 対象 5年生

「みちくさ」の学習で、描写を基に人物関係図を作りながら、人物の性格や心情を捉える力を身に付けてきた。また、「東京スカイツリーのひみつ」では、事実と筆者の意見との関係を押さえ、要旨をまとめたり、論の進め方について考えたりする力を身に付けてきた。しかし、自信を持って自分の言葉で表現したり、自分の考えをまとめたりする力はまだ弱いと感じる。本校では今年度、言語能力の育成に重点を置き、各教科における言語活動の意図的・計画的な設定を行っている。情報化が進みAIが発達する中で、自分の言葉で表現できる子を育てたいと思い、本単元を構想した。

### 2. 単元名 「君はAIに勝てるのか？読書感想文を書こう ～自分の考えをまとめよう～」

教材名 注文の多い料理店（全8時間）

### 3. 単元で育成を目指す資質・能力

知識及び技能	・日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気付くことができる。【(3)オ】
思考力, 判断力, 表現力等	・人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり表現の効果を考えたりすることができる。【C(1)エ】 ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。【C(1)オ】
学びに向かう力, 人間性等	・言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

### 4. 授業展開【 本時 ・ 単元 】

#### 解決したい課題や問い

AI(ChatGPT)に負けない読書感想文を書こう。

考えるための材料	考えるための材料	考えるための材料	考えるための材料
・ChatGPTが書いた読書感想文 (視点を変えて書かせたものを数種類用意)	・言語活動 (読書感想文を書く)	・意図的なグループ設定。	・読書感想文シート
想定される活動	想定される活動	想定される活動	想定される活動
AIが作成した読書感想文を読み合うことで、違和感を持ったり、内容とのずれに気付いたりする。→自分で書きたい、しっかりと教材を読み深め、表現したいという気持ちを持つ。	「注文の多い料理店」を読み、自分の考えがどう変容したのか、自分の言葉で書く。	このメンバーだから意見を伝えたい、聞きたいと思いたい、積極的に話し合いを行う。	登場人物の変容や表現の工夫、作品の主題や作品を読んで自分がどう変わったのか等を毎時間まとめ、学びを蓄積する。

## 対話と思考(対話を通じた協働的な問題解決のプロセス)

- 1 ChatGPTが書いた読書感想文を読み合う。(グループ)  
「すごいけれど、何か違和感がある。」「もっと内容に触れた方がいいのではないかな。」  
「自分だったら、こう書きたいな。」
- 2 読書感想文を書くために、教材を読み深める。(個人・ペア・グループ→全体)
  - ・文の構成や物語の構造(場の設定)
  - ・オノマトペや読み手の想像を膨らませる工夫
  - ・登場人物の性格や心情の変化
  - ・物語のおもしろさや主題

読書を通して、変容した自分の考えをまとめる。

「動物の命を大切にしなければならない。」「見栄は張ってはいけない。」  
「命はみんな平等。ありがたいという気持ちを持ちたい。」
- 3 感想文を書くために話し合う。(3人グループ)  
※読み深めたことを話す活動を通して、自分の考えをまとめる。  
「最後まで紳士の性格は変わらなかった。でも、可哀想だから顔が戻ればよかったのに。」  
「最後に紳士の顔を変えなかったところに、宮沢賢治のメッセージが隠されているのではないかな。」「なるほど。そういう考え方もあるよね。どうやって感想文にまとめたらいいかな。」  
「私だったら……。」
- 4 自分の言葉で読書感想文を書き、読み合う。(個人→全体)  
「悪いことをすると、全て自分に返って来る」「命の大切さ」「人間の傲慢さへの警告」

## 学習の成果(予想される生徒のあらわれ)

- 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。
- ・読書感想文  
くしゃくしゃになった二人の紳士の顔。どうして顔が戻らなかったのか、不思議に思い読み返してみました。……私は今まで人間の愚かさや自然や動物について深く考えたことはありませんでした。でも、「注文の多い料理店」に出会い、命は平等であることを改めて感じました。見栄を張らずに、自分の心に誠実に生き、いろいろなことに感謝して生活していきたいと強く思いました。
  - ・振り返り  
AI(ChatGPT)もすごいけれど、自分で感想文を書いた方が面白いと思った。夏休みの読書感想文に生かしたい。